

## 子育てママたちに、ホッとできるひとときを

かあかのおうち



「かあか」こと代表の吉永光千心さん。玄関先には手づくりの看板が。



子供たちに目が届くちょうどいい広さ、居心地の良さが自慢です。

### 昔からのママ友たちがスタッフに

「かあかのおうち」まだ言葉を覚えたばかりの幼い子どもで言うことができる優しい響き。これが2016年5月より吉永光千心（みちこ）さんがご自宅を開放して開かれている育児広場・一時預かり保育施設の名前です。

「0～3歳は保育園や幼稚園に行く前で、ママ同士もつながりを作りにくい。彼女たちの情報交換や交流の場にもなり、ホッとしてもらえる場所を作りたいと思って。昨年9月からは一時預かりも始めました。」と吉永さん。チラシを保育園や児童館などに貼らせてもらい、それを見て皆さん訪れるそうです。スタッフさん達はもともと吉永さん自身が子育てしていた時のママ友や、実母であるおばあちゃん先生と合わせて6人体制。4月からは長く看護師をされていた方も新たに加わり、ますます人材がパワーアップする予定です。

### 来てもいいよと言ってもらえる場所

「まるで実家に来たみたい、と言われるのが嬉しい。」とスタッフの渡辺久美子さん。孤独な子育てで追い詰められ、虐待なども問題になっている昨今、まずママを見てあげたい。そっと寄り添ってあげられれば、と吉永さん。利用するママたちに何うと「児童館などでは子どもを連れてトイレに行くのも大変。でもここでは先生が見ていてくれるんです。」

「子育て経験豊富な方々に見てもらえるので、いざと言う時に安心して預けられます。」「来ていいよと言ってもらえる場所があるというだけで嬉しいです。地元で親戚がいなくても、かあかがいてくれるって。」と信頼と感謝がにじむ言葉があふれます。

吉永さんはみんなのかあか（お母さん）。子育てに疲れたと感じたあなた、一度かあかのおうちを訪れてみませんか？



季節の折々の飾りつけ。「不思議とそれぞれのお子さんに似てるのよ」



おもちゃの取りあいも譲り合いも一つづつ覚えていきます。